

ニュージーランド留学 中間レポート

湧別高校1年 黒田貴斗

僕は2年前に2週間の派遣事業に参加しましたが、もっとニュージーランドの文化、英語を学びたいと思い、長期留学に挑戦しました。

約1ヶ月間、ニュージーランドに滞在した感想としては、やはりすべてが英語なのでとても大変だと言うことです。買い物やカフェなどに行った時、商品やメニューがすべて英語でわからなくて困りました。今では少しずつ理解できるようになり、一人でお店に行ったり、日常生活でも英語で話せるようになり、毎日英語に触れることができるのでとても楽しいです。

2年前は短期留学だったので、キャンプやマオリの授業と言った文化を学ぶことがメインでしたが、今回は自分の時間割をもらい、ダーフィールドハイスクールの生徒たちと同じ授業を受けてみて少し驚きました。ダーフィールドハイスクールの授業はほとんどが個人作業で、日本のように先生の話を聞き、ノートをとると言う事がほとんどありません。なので、必要に応じて友だちと相談したり、先生に質問するため立ち歩いたりしています。日本ではわからないなら友だちに聞くのではなく、その場で先生に質問するのが授業スタイルですが、ダーフィールドハイスクールは個人で勉強していて必要に応じて相談や立ち歩くことがOKでこれがダーフィールドハイスクールの授業スタイルだと感じました。どちらかと言うとダーフィールドハイスクールの授業スタイルの方が好きです。

家の生活は日本と特に変わりもなく、みんなでご飯を食べ、リビングでくつろぐと言う生活を送っています。ですが、1つだけ少し困ったことがあります。それは洗濯についてです。日本では毎日1回以上は洗濯をしますが、ニュージーランドでは3日おきか、土日にまとめて洗濯するので困っていましたが、慣れてきました。ニュージーランドでは日本のように水が豊富でないからなのだと思います。休日はでかけることが多いです。買い物に行ったり、11月5日には家族とクリストチャーチへ花火を見に行きました。日本とは違い、花火は低い位置で上がっていました。海に近いところで花火を上げていたので、海面ギリギリに上がる花火が見れました。

残りの約1ヶ月ももっと英語を勉強し、日本との違いをたくさん発見できるように頑張ります！

ニュージーランド留学 最終レポート

湧別高校1年 黒田貴斗

2ヶ月間の留学を終えた感想は、ニュージーランドでは毎日英語を話し、マオリ文化について調べたり、休日はホストファミリーと出かけたりと、本当に楽しく、充実した毎日を送ることができました。

日本に帰ってきてからは、より文化の違いを感じることができました。まずは、学校生活です。前回のレポートでも紹介しましたが、ニュージーランドの学校は一言で言うと、とても自由です。ですが、自由だからと言って悪い意味ではなく、自由だからこそ、質問があるなら自分から聞くという、積極性が身に付いていくのではないかと思いました。ですが、少し集中しづらい点については、日本の授業スタイルの方が良いと思います。両方の良い所を合わせていけば、より良い授業になるのではないかと思います。

2つ目は、私生活です。帰って来てまず安心したのは、言葉が全て通じると言う事です。やっぱり、上手く言葉が伝わらないと少し不安になりましたが、ニュージーランドの人たちは理解しようしてくれたので、大丈夫でした。後半には日常会話なら話せるようになり、ホームステイも楽しくなりました。言葉が通じることはとても大切なことだと改めて実感しました。そして、なんと言ってもお風呂です。ニュージーランドでは湯船につかると言うことがなかったので、帰ってきてからはお風呂が至福のひと時です。

マオリ族についても調べることができました。今のニュージーランドに移住してきてからクック船長に会ったり、ヨーロッパ人と共存もしていたようです。ですが、戦争があり人口が減少したのですが、まだ生存者がいます。ダーフィールドハイスクールでは、マオリの授業をするなど、伝統を失わないようにしています。

今回の目標であるマオリについて調べること、英語の勉強をする事は、達成できたと思います。マオリについては調べることができ、英語の勉強については日本での英語の授業が前より理解できるようになっていて、少しは英語力がついたと思います。ニュージーランドの代表的な食べ物である、フイッシュアンドチップスも食べることができました。

本当に今回の体験はとても貴重な体験になりました。この体験をこれから的生活にいかしていくたいと思います。そして、少しでも湧別町とセルウィン町をつなぐ架け橋になりたいです。

このような体験をさせていただき、本当にありがとうございました。